

緑のボランティア通信

2020.2.1

No.64

令和2年度

第16回 わがまち花と緑のコンクール

応募期間 3/10(水)～4/16(木)

川崎市の花と緑の美しい景観を発掘し、それを創り出している方々の紹介を目的に実施します。応募作品の審査は、市民による運営委員の現地調査や予備選考会を経て学識経験者等による選考委員会で決定します。団体・個人ともに入賞と大賞作品が選出され、その結果を6月27日(土)中原市民館で行われる表彰式で発表します。

応募方法は、応募用紙(各区役所等配布)に必要な事項を記入し、写真4枚貼付の上、郵送してください。ぜひ、この機会に団体で手入れしている花壇や、ご自宅の花壇等をご紹介ください。皆様のご応募をお待ちしております。

昨年の入賞作品の一部



団体部門 大賞

「市営清水台団地自治会 みどりの会」



個人部門 大賞

「金子 実」



団体部門 連続努力賞

「はなくらぶ」



個人部門 新人賞

「小玉 恵公」

表彰式の様子



第15回 わがまち花と緑のコンクール



応募いただいた場所には
現地調査に伺います



かわさき緑のイメージキャラクター
緑の妖精 グリンピー

目次

わがまち花と緑のコンクール募集	1
開催報告(交流事業及び黄緑クラブ)	2
活動団体訪問・自己紹介コーナー	3
flowerbed	4

開催報告

◆ ～令和元年度交流事業を開催しました～

今年度も多くの参加者にご来場いただき、令和最初の交流事業花壇編・里山編は盛況のうちに開催することができました。今回の花壇編は「コンテナガーデニング」に、里山編は「地層」に焦点を当てて開催しましたので今号ではその開催の様子をご紹介します。

花壇編

令和元年10月30日（水） 高津市民館にて

内容 講演「コンテナガーデニングではじめる植物のある豊かな暮らし」
内容 コンテナガーデニングづくりの実演、座学、花苗抽選会など

コンテナ
ガーデニング
実演



里山編

令和元年11月16日（土） 川崎市総合自治会館にて

内容 講演①「地層で知るかわさき・里山～川崎の地形の成り立ち～」
講演②「豊かな緑は山を守る？～崖の保全と緑について～」
内容 パネル展示、交流タイム、クラフトコーナーなど

日本応用地質学会
ブース



◆ こども黄緑クラブ秋編「ザリガニとドングリ」

10月20日のザリガニ編では石綿進一先生をお呼びして黒川谷ツ公園でザリガニの駆除と水生生物の観察を行いました。

また、11月10日のどんぐり編ではドングリと虫たちのお話を高柳芳恵先生に教えてもらいました。

ご参加いただいた延57名の皆様
ありがとうございました。

ドングリ作業も
しました



約100匹の
ザリガニの駆除が
できました

緑の活動団体訪問・自己紹介コーナー

宮前・コミュニティガーデン実行委員会 (2001年設立)

活動場所 宮前区宮崎3丁目道路予定地地内

交通案内 東急田園都市線「宮崎台駅」下車 (徒歩10分)



愛称は隣にある宮崎台小学校の生徒がつけてくれた「きせつのかみちグリーンガーデン」、そして「みんなでつくる・みんなで楽しむ・みんなのコミュニティガーデン」がキャッチフレーズです。

定例作業は毎週土曜午後2時(盛夏は3時)から。作業後は、ティータイムを楽しみながら、ガーデンづくりの情報交換を行っています。参加者は子どもから年配者まで幅広く、活動内容は花壇の花の手入れだけでなく、段々花壇になっているガーデンの整備や、たねダンゴづくり、腐葉土づくり、ハーブ栽培、コンクリート上にも置ける芝生ユニット(愛称「芝生ちゃん」)の製作、地場産野菜や産み立て卵販売のコミュニティ市開催など多彩です。



年2回の花植えイベント以外にも、夕涼み会、芋煮会などの楽しいイベントも企画しています。公園ではない

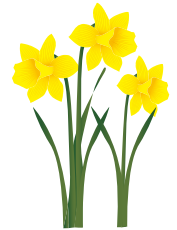
ため、花を摘んでアレンジメントを作ったり、ブラックベリーを摘んだり、育てたハーブを利用したりなど楽しいことが体験できるガーデンです。(河井明子)



柿生の里クラブ (2010年設立)

活動場所 柿生の里特別緑地保全地区 (川崎市麻生区上麻生7丁目6番、7番)

交通案内 小田急線「柿生駅」下車 徒歩10分



当会は2010年3月から、公的な緑地として保全されたこの場所を「地域の多摩丘陵の自然・歴史・文化を活かした里山を再生し、未来へ手渡していこう」と活動を始めました。場所は柿生駅からほど近く「柿生の里散歩道」上の「おっ越し山ふれあいの森」、「麻生山浄慶寺緑の保全地域」などとつながり、新しく保全された「上麻生仲村東特別緑地保全地区」、「上麻生仲村西特別緑地保全地区」とともに柿生の町中に残された緑の小舟のコアともなる面積19,000㎡の緑地です。



地形は起伏に富んだ谷戸地形で、その昔ここが大きな農家の屋敷地だった頃の佇まいを今に伝えています。保全活動では禅寺丸柿、ムクロジ、ヤマザクラ、クヌギ、ヒノキ、ケヤキといった古木類や多数の貴重な山野草の保全に努めていますが、複雑な地形と植生なので12のゾーンに分けて、作業内容の検討・振り分けを行い、動植物の調査・記録もしています。アズマネザサ、クマザサなどの下草刈り、モウソウチクの除伐、間伐を繰り返し7年目に、当初1本も見当たらなかったヤマユリがあちらこちらで花を付け始めたのには自然の力への驚きと感動がありました。

未整備で閉鎖管理ではありますが、会の活動日には見学や里山ボランティア体験などを歓迎しています。また里山フォーラム in 麻生と協働であさお里山こどもクラブ、里地里山ナチュラリスト養成講座といった体験学習・環境学習を開催し、次世代への継承を図っています。これからも仲間やいろいろな方々とよき場所となるよう力を合わせて行きます。(石井よし子)

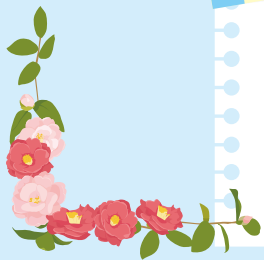


いつも見慣れている公園の花壇、そんな花壇の花を紹介します。

ワンポイント

水のあげ方について② 冬季編

以前に、水のあげ方について取り上げましたが、今回は冬季、とくに霜がおりる時期の水のあげ方です。水をあげる時間帯は、気温が上がり暖かくなってからにしましょう。根っこが凍っている時にあげても吸いにくいからです。また、夕方以降にあげてしまうと、あげた水が凍ってしまうので、それも避けましょう。人間も冬は冷たい水は嫌ですもんね。



No.15 イベリス * 多年草

*開花期 4月～6月
*花言葉 心をひきつける



お店でも人気のある植物です。花の色は白・赤・ピンク・紫がありますが、白が一般的です。

花壇に使うと、毎年大きく成長し、立派な株になります。

開花期を表記しましたが、冬季にお店に並んでいるものはハウス栽培なので開花して入荷しています。



No.16 ナデシコ * 宿根草

*開花期 4月～8月
*花言葉 純粋な愛



開花期は種類によって違うため長く書きました。四季咲きの品種が出ていますが、開花期は長くて2ヶ月位と思ってもらえれば良いと思います。花の色は赤・ピンク・白・紫などがあります。

種類は大変多く、書ききれませんが花壇によく使われるのは、テルスター系です。

母の日に使われるカーネーション。これもナデシコ（ダイアンサス）の仲間になります。



(株) せんじゅえん 泉樹園、手塚賀久

公共の花壇を対象に誰もが知っているポピュラーな花を再認識していただくコーナーです。このコーナーのご意見、ご要望をお寄せください。ぜひ参考にさせていただきます。